

平成26年度 自主講座 実践力アップ講座「幼児教育④」の開催

自主講座の実践力アップ講座も1月21日(水)の開催で第4回目となりました。

本教育研究所の指導講師でもある那覇市立古蔵幼稚園主幹の村吉和美先生を講師に「童謡を保育にいかす」と題して指導していただきました。

「童謡」のもつ言葉の美しさや歌が生活の様子と密接につながっていることを実際の童謡の例をあげながら、保育へのいかしかたもお話ししていただきました。

実際に「子どもの王様」や「お誕生月なかま」「まわせまわせ」を歌ったり、踊ったりしながら保育へのいかすポイントを押えながら実践としてどう盛り込んでいくかも、体験することができました。

音楽は心の中に一生残り、その時の情景が思い出と一緒に原風景としてつながっており、生きる元気の源にもなり得るのです。そんな歌を伝えられる役割を担うことのできる、幼稚園教諭、保育士のやりがいを感じ、明日からの保育実践への勇気と元気をいただき、心も体も充実した講座でしたとの感想が多くありました。

なお、村吉先生は、近年、幼稚園から子ども達の歌が聞こえてこなくなっている現状を「若い先生方が童謡を知らない」ことにも起因することを憂い、「大切な歌を伝えていきたい」と思い立ち、那覇市内の公立幼稚園が「残したい童謡」の歌詞と楽譜を持ち寄ってこれから編纂し、資料としていく取組をスタートしており、その一部を資料として紹介していただきました。



写真1 講座の様子

参加者並びアンケート回答者人数

職業	人数(人数)	
	参加者	回答者
保育所職員	3	2
幼稚園教頭	2	16
幼稚園教諭	19	
幼稚園臨任教諭		4
その他	5	1
未記入	0	1
	29	24



写真2 童謡を歌いながら学ぶ

【受講生の感想】(アンケートから)

- 私たちが歌を取り入れて保育しているのには、とても大きな役割があることがわかりました。幼稚園で家庭で歌われないと消えていく歌・・・大切に歌っていきます。  
(糸満市 幼稚園教諭)
- 歌、童謡から言葉の意味や情景などが蓄えられていくこと、普段何気なく歌っている童謡の奥深さ、素晴らしさに改めて感動しました。そして、幼稚園教育の素晴らしさを大切にしていきたいと思いました。また、後輩たちや子どもたちに受け継いでいけるようにしていきたいです。  
(与那原町 幼稚園教諭)
- 毎日の生活の場面でいつでも口ずさめるようにしていきたいです。童謡の歌詞の素晴らしさ、子どもの心に響くように、そして感動に残せるような気持ちで若い先生方に伝えていきたいと思います。  
(南風原町 幼稚園教諭)